

令和三年 高等部(キャリアスタディ)年間指導計画

教科・領域名			キャリアスタディ	学年	3年
作成責任者				教育課程・類型	Ⅱ 課程・A類型(①②グループ)
教科 の 観 点 標 別	知識及び 技能		・心身の健康、コミュニケーション能力の育成、望ましい勤労観・職業観の確立、基本的生活習慣の形成など、それぞれの社会的・職業自立に向け必要な基盤となる能力や態度を身に付ける。		
	思考力 判断力 表現力等		・将来の生き方、働き方について考えを深め、課題を解決し自らの役割を果たそうとする力を高める。		
	学びに向かう 力・人間性等		・将来のより良い社会生活に向けて主体的に自己を生かそうとする態度を養う。		
学期	月	時数	単元名	単元の目標	学習内容
一 学 期	4 月 ～ 7 月	24	・漢字検定(国語) ・数学検定(数学) ・電卓の使い方 ・技能検定 (社会・情報・家庭科) ・運転免許(社会・理科・国語・数学) ・個々の教育的ニーズに応じた活動 (国語・社会・数学・理科・保健体育・職業・外国語・自立活動)	・漢字検定の合格を目指す。 (知・思・学) ・数学検定の合格を目指す。 (知・思・学) ・実践的な活動を通して、技能 検定の合格を目指す。(知・ 思・学) ・運転免許取得に向けて模擬 試験の練習や道路交通法に ついて学習する(知・思・学) ・日常生活、社会生活におい て各自の課題を意識し、個々 の活動を通して課題解決に取り 組む。(知・思・学)	・漢検プリントを活用した学習 ・数検プリントを活用した学習 ・電卓を活用したプリント学習 ・実践的な活動学習(ほうき、モップ、机 拭き、接客等) ・iPadアプリやプリントを活用した学習 ・係活動 ・カレンダーワーク、ポスター作成
二 学 期	9 月 ～ 12 月	28	・漢字検定(国語) ・数学検定(数学) ・電卓の使い方 ・技能検定 (社会・情報・家庭科) ・運転免許(社会・理科・国語・数学) ・運動会練習(体育) ・特体連練習(体育) ・個々の教育的ニーズに応じた活動 (国語・社会・数学・理科・保健体育・職業・外国語・自立活動)	・漢字検定の合格を目指す。 (知・思・学) ・数学検定の合格を目指す。 (知・思・学) ・技能検定の合格を目指す。 (知・思・学) ・運転免許取得に向けて模擬 試験の練習や道路交通法に ついて学習する。(知・思・学) ・日常生活、社会生活におい て各自の課題を意識し、個々 の活動を通して課題解決に取り 組む。(知・思・学)	・漢検プリントを活用した学習 ・数検プリントを活用した学習 ・電卓を活用したプリント学習 ・実践的な活動学習(ほうき、モップ、机 拭き、接客等) ・iPadアプリやプリントを活用した学習 ・係活動 ・カレンダーワーク、ポスター制作 ・健康の維持及び向上のための運動
三 学 期	1 月 ～ 3 月	18	・漢字検定(国語) ・数学検定(数学) ・電卓の使い方 ・技能検定 (社会・情報・家庭科) ・運転免許(社会・理科・国語・数学) ・個々の教育的ニーズに応じた活動(国語・社会・数学・理科・保健体育・職業・外国語・自立活動)	・漢字検定の合格を目指す。 (知・思・学) ・数学検定の合格を目指す。 (知・思・学) ・技能検定の合格を目指す。 (知・思・学) ・運転免許取得に向けて交通 模擬試験の練習や道路交通 法について学習する。(知・ 思・学) ・日常生活、社会生活におい て各自の課題を意識し、個々 の活動を通して課題解決に取り 組む。(知・思・学)	・漢検プリントを活用した学習 ・数検プリントを活用した学習 ・電卓を活用したプリント学習 ・実践的な活動学習(ほうき、モップ、机 拭き、接客等) ・iPadアプリやプリントを活用した学習 ・係活動 ・カレンダーワーク、ポスター作成 ・健康の維持及び向上のための運動
年間授業時数			(70) 時間		

令和三年度 高等部 音楽 年間指導計画

教科・領域名			音楽	学年	3年
作成責任者			教育課程・類型		Ⅱ 課程・A類型
教科観の点別標	知識及び技能	曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作、身体表現の技能を身に付けるようにする。			
	思考力・判断力・表現力等	音楽表現を創意工夫することや、音楽のよさや美しさを自分なりに見いだしながら音楽を味わって聴くことができるようにする。			
	学びに向かう力・人間性等	主体的・共同的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しみ、音楽経験を生かして生活を明るく豊かなものにしていく態度を養う。			
学期	月	時数	単元名	単元の目標	学習内容
一学期	4月 ～ 7月	24	1 表現 (1)歌唱 ・季節の歌 ・行事に関する歌 (独唱、斉唱、二部合唱曲) (2)器楽 ・旋律奏 ・アンサンブル ・合奏 (親しみやすく、様々な楽器で演奏できる曲) (3)創作 ・リズムリレーなど (4)身体表現 ・指揮(2・3・4拍子) ・手話ソング (親しみやすい歌詞やリズム、旋律等を持つ曲)	1 表現 (1)歌唱 ・歌詞をイメージし、声の強弱や歌い方を工夫して歌唱表現することができる。(思・判・表) (2)器楽 ・1オクターブ程度の音程を譜読し、リズムや臨時記号に気をつけて演奏することができる。(知・技) (3)創作 ・様々なリズムを組み合わせで演奏することができる。(知・技) (4)身体表現 ・強弱を意識した指揮を振ることができる。(思・判・表) ・手話の動きの意味を理解し、旋律や歌詞のタイミングに合うように表現できる。(知・技)	1 表現 (1)歌唱 ・『花』 ・『いのちのリレー』 ・『上を向いて歩こう』 (2)器楽 ・『少年時代』 ・カップス (4)身体表現 ・『糸』(手話) 2 鑑賞 ・春に関する曲 ・慰霊の日に関する曲 ・おすすめ音楽
	二学期	9月 ～ 12月	28	2 鑑賞 ・クラシック ・ポピュラー音楽 ・日本の音楽 ・郷土の音楽 ・自分のおすすめ音楽	2 鑑賞 ・楽器の名称や特徴を理解して鑑賞することができる。(知・技) ・自分の好きな曲の特徴やよさを友達に説明したり、共感したりすることができる。(主)
三学期		1月 ～ 3月	18	※以上の内容を織り交ぜながら、年間を通して指導する。	* 高等部1段階相当
年間授業時数			70時間		

令和三年 高等部(外国語)年間指導計画

教科・領域名			外国語	学年	3年
作成責任者				教育課程・類型	Ⅱ課程・A類型(12グループ)
教科観の点別標	知識及び技能		英語を用いた活動を通して、英語の音声や文字、語彙、表現に慣れ親しみ、聞くこと、話すこと、読むこと、書くことによってコミュニケーションができる基礎的な技能を身につける。		
	思考力・判断力・表現力等		身近で簡単な事柄について、英語の語句や表現を使って自分の考えや気持ちなどを伝え合うことができる。		
	学びに向かう力・人間性等		英語の背景にある文化に対する理解を深め、主体的にコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。		
学期	月	時数	単元名	単元の目標	学習内容
一学期	4月 ～ 7月	12	・私の一日 ・通学 ・道案内 ・行きたい国	・英語で時刻をたずねる表現や生活を表す表現に慣れ親しむ。(知識・技能・表現) ・乗り物に関する語句を知り、英語表現を使って移動手段を説明することができる。(知識・技能・表現) ・建物・場所を表す語句を知り、英語表現を使って道を聞いたり、道案内したりすることができる。(知識・技能・表現) ・行きたい国ついてたずねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。・世界の国々の生活について知ることができる。(知識・思考・表現・学び)	・時刻の表し方 ・What time do you get up? ・交通手段の名称 ・How do you go to school? - I go to school by bus. ・建物・場所を表すことば ・Go straight.Turn right. ・国名 ・I want to go to Italy.
二学期	9月 ～ 12月	14	・夏休み中のできごと ・オータムフェスティバル ・体調を伝えよう ・ホリデーシーズン	・動詞の過去形を用いて、夏休みのできごとを説明することができる。(知識・技能・表現) ・外国の季節の行事について知り、自国の文化との違いに気付き、外国の文化・風習に対する理解を深める。(知識・学び) ・病気や体の状態を表す語句を知り、体調を伝える表現を用いて相手に伝えることができる。(知識・技能・表現) ・外国の季節の行事について知り、自国の文化との違いに気付き、外国の文化・風習に対する理解を深める。(知識・学び)	・I went to beach. ・オータムフェスティバル ・ハロウィーン ・感謝祭 ・病気や体の体調を表すことば ・What's the matter? - I have a headache. ・クリスマスカードづくり ・外国の年末年始の過ごし方
三学期	1月 ～ 3月	9	・ハッピーニューイヤー ・私の夢 ・Thank you, teachers! ・1年のまとめ	・新年や冬に関する語句・表現に慣れ親しむ。・外国と自国の文化との違いに気付き、外国の文化・風習に対する理解を深める。(知識・技能・表現・学び) ・自分の夢について考え、卒業後にやりたいことを表現することができる。(知識・表現) ・感謝の気持ちを表す英語表現に慣れ親しむ。・基本的な英語の手紙の書き方を知る。(知識・技能・表現) ・学習した語句や表現を復習する。(知識・技能・表現・学び)	・新年のあいさつ、外国の新年 ・新年の抱負 ・I want to drive a car. ・感謝の気持ちを伝える表現 ・基本的な英文レターの書き方 ・既習語句・表現のふりかえり
年間授業時数			(35)時間		

令和三年 高等部(国語)年間指導計画

教科・領域名			国語	学年	3年
作成責任者				教育課程・類型	Ⅱ 課程・A類型(1・2グループ)
教科観の 点別標	知識及び技能	社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。			
	思考力 判断力 表現力等	筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げることができるようにする。			
	学びに向かう力 人間性等	言葉がもつよさを認識するとともに、進んで読書をし、国語を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。			
学期	月	時数	単元名	単元の目標	学習内容
一 学 期	4 月 ～ 7 月	36	・自己紹介をしよう！	・自分自身についての情報を書き出し、精選して相手に伝えることができる。また、他者の話を簡単にまとめることができる。(知識及び技能)	・自分について情報を言葉で表現し、他者に伝える。また、他者の話を聞いて簡単にまとめる。
			・本に親しもう	・図書館の利用方法を確認し、読書に必要な知識や情報を得ることに役立つことに気付くことができる。(知識及び技能)	・図書館オリエンテーションの実施
			・調べたことを報告しよう	・調べた内容がわかりやすく相手に伝わるように、構成を話し合ってレポートを書くことができる。(思考力・判断力・表現力等)	・身近なテーマを教師が設定し、本やインターネットなどを活用して情報を集め整理する。書きたい内容をはっきりさせて文を構成する。
			・情報を選択しよう	・インターネットや新聞、テレビの情報の違いに気付くことができる。(思考力・判断力・表現力等)	・各メディアの情報を読み取り表にしたり、話し合ったりして意見をまとめる。必要な情報を精査して使い分け、取捨選択する必要性を学ぶ。
			・暑中見舞いを書こう	・相手や目的にあった文章になったか確かめ、文や文章を整えることができる。(知識及び技能)	・暑中見舞いを書き、葉書の正しい書き方や相手や目的を意識した文章について学び、文や文章を整える。
二 学 期	9 月 ～ 12 月	42	・方言に親しもう	・生活に身近な方言や地域のことわざ(黄金言葉)の意味について知り、郷土の言語文化に親しむことができる。(知識及び技能)	・しまくとうばカルタを通して、身近な方言について知る。また、黄金言葉の意味について考える。
			・話の内容を捉えよう	・話し手が伝えたいことの中心に注意して聞き、話の内容を捉えることができる。(思考力・判断力・表現力等)	・他者の話の内容をメモに取り、第三者に伝える。
			・敬語を使おう	・日常でよく使われる尊敬語を理解し使うことができる。(知識及び技能)	・尊敬語について学習し、状況に応じた尊敬語を使う。
			・物語を読もう	・言葉の意味や文の意味を理解しながら登場人物の心情の変化を場面に沿って捉えることができる。(思考力・判断力・表現力等)	・「少年の日の思い出」「鼻」等の物語文を読み、話の内容や登場人物の心情の変化を読み取る。
			・年賀状を書こう	・相手や目的を意識した賀詞や文章になっているか確かめ、文や文章を整えることができる。(知識及び技能)	・年賀状を書き、葉書の正しい書き方や相手や目的を意識した文章、賀詞の使い方について学び、文や文章を整える。
三 学 期	1 月 ～ 3 月	27	・書き初めをしよう	・文字の組み立てを理解し、毛筆で形を整えて書くことができる。(知識及び技能)	・書道道具、筆の扱い方を知り、書写を行う。
			・古文を読もう	・仮名遣いに注意したり心地よい響きやリズムを味わったりしながら繰り返し音読し、古典の世界に触れ楽しむことができる。(知識及び技能)	・「竹取物語」が「かぐや姫」のベースであることを理解し、内容を捉えることができる。また、音読に繰り返し取り組むことで言葉の持つリズムを感じ取る。
			・卒業短歌を作ろう	・3年間の思い出を振り返り、書くことを決めて伝えたいことを明確にすることができる。(学びに向かう力人間性等)	・短歌の形式を理解し、自分の気持ちに合う言葉を選択し、短歌の形式に合った形に整えて表現する。
年間授業時数			(105) 時間		

令和三年 高等部(社会)年間指導計画

教科・領域名			社会	学年	3 年
作成責任者				教育課程・類型	Ⅱ 課程・A 類型(1・2グループ)
教科観の点別標	知識及び技能		我が国の国民生活、社会参加するためのきまり、公共施設の役割と制度等社会生活との関連を踏まえて理解するとともに情報を適切に調べてまとめる技能を身につけるようにする。		
	思考力 判断力 表現力等		社会的事象を自分の生活と結びつけて考える力、社会との関わり方を選択・判断する力、表現する力を養う。		
	学びに向かう力 人間性等		社会に主体的に関わろうとする態度や学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うとともに、地域社会の一員としての自覚や平和を願い国内や世界の人々と共に生きることの大切さについての自覚を養う。		
学期	月	時数	単元名	単元の目標	学習内容
一学期	4月 ～ 7月	12	・身の周りの生活と社会	・身近な生活の中で起こっている出来事が理解できる。(思考力・判断力・表現力) ・国会や地方議会のしくみと制度がわかる。(知識及び技能)	・少子高齢社会の課題 ・高度情報化社会における情報モラル ・日本国憲法 ・国民の義務 ・国会 ・税の種類 ・社会保障 ・社会福祉
			・国や社会のしくみと決まり		
二学期	9月 ～ 12月	14	・私たちを支える社会のしくみ	・選挙のしくみがわかり、自分で投票ができる。(思考力・判断力・表現力)	・18歳選挙権と日本の選挙制度
			・復帰記念日、慰霊の日		
三学期	1月 ～ 3月	9	・選挙制度について		
二学期	9月 ～ 12月	14	・公共の交通機関の利用	・バスやタクシーの利用の仕方がわかる。(思考力・判断力・表現力)	・バスやタクシー等でのマナーや時刻表、料金表
			・金融機関(銀行)や郵便局の使い方		
三学期	1月 ～ 3月	9	・それぞれの公共機関の役割がわかる。(知識及び技能)	・立候補者の政策を理解し、投票における材料を調べることができる。(思考力・判断力・表現力)	・警察や消防の役割 ・病院の種類 ・インターネットで立候補者の政策を調べる。
			・公共機関(役所、警察、消防、病院等)のしくみ		
三学期	1月 ～ 3月	9	・投票のやり方		
三学期	1月 ～ 3月	9	・職業や生活の相談と支援	・卒業後困った時に相談する期間や制度がわかる。(思考力・判断力・表現力)	・仕事の相談、生活の相談
			・私たちの経済と消費活動		
三学期	1月 ～ 3月	9	・卒業後の生活	・卒業後の生活がどのように変わるのか知ることができる。(思考力・判断力・表現力)	・1日のスケジュール表を作成 ・生活費の算出
年間授業時数			(35) 時間		

令和三年 高等部(情報)年間指導計画

教科・領域名			情報	学年	3年
作成責任者				教育課程・類型	Ⅱ 課程・A類型(1・2グループ)
教科観 の点 目別 標	知識及び 技能	問題を知り、問題を解決するための身近にある情報と情報技術の知識について理解し、基礎的な技能を身に着けるとともに、情報科の進展する社会の特質及びそのような社会と人間との関わりについて理解する。			
	思考力 判断力 表現力等	身近な事象を情報とその結びつきの視点から捉え、問題を知り、問題の解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に用いることができる。			
	学びに 向かう力 人間性等	情報社会との関わりについて考えながら、問題を知り、問題の解決に向けて主体的に情報と情報技術を活用し、自ら評価し改善しようとする。			
学期	月	時数	単元名	単元の目標	学習内容
一 学 期	4 月 ～ 7 月	12	情報解決の問題解決 ①情報に関する基礎知識 ②情報モラル	①情報に関する基礎知識 ・身の回りにおけるICT機器についての基礎知識を理解する。(知識・技能) ・ICT機器やアプリ、インターネットサービスの日常的な活用方法を考える。(思考・判断・表現) ・ネットを活用した問題解決を考える。(主体的に学習に取り組む態度) ②情報モラル ・ICT機器の利用に関するルールやマナーを理解する。(知識・技能) ・情報発信が与える影響について考える。(思考・判断・表現) ・これからの情報モラルについて自ら考える。(主体的に学習に取り組む態度)	①情報に関する基礎知識 ・情報の教科書を使用した基礎知識の習得。 ・Webコンテンツ、アプリに触れながら活用方法を学習する。 ・日常的な課題に対してネットを活用して解決方法を調べ、実行する。 ②情報モラル ・動画教材で情報モラルを理解する。 ・様々なシチュエーションにおける情報の発信者・受信者の感情を考える。
二 学 期	9 月 ～ 1 2 月	14	コミュニケーションと情報デザイン ①コミュニケーションツールの活用 ②情報技術の活用と情報発信	①コミュニケーションツールの活用 ・コミュニケーションツールの基礎知識を理解する。(知識・技能) ・コミュニケーションツールで情報発信をする。(思考・判断・表現) ・コミュニケーションツールの有効な活用方法を考える。(主体的に学習に取り組む態度) ②情報技術の活用と情報発信 ・情報発信の方法について理解する。(知識・技能) ・情報発信をする。(思考・判断・表現) ・これからの情報発信について考える。(主体的に学習に取り組む態度)	①コミュニケーションツールの活用 ・Teams演習 ・Forms演習 ②情報技術の活用と情報発信 ・情報発信についての基礎知識を理解しよう。 ・イベント広告を作ろう。
三 学 期	1 月 ～ 3 月	9	情報通信ネットワークとデータの活用 ①データの入力 ②データの出力	①データの入力 ・データの入力方法について理解する。(知識・理解) ・データの信頼性について考える。(思考・判断・表現) ・効率的な入力方法を考える。(主体的に学習に取り組む態度) ②データの出力 ・データの出力方法について理解する。(知識・理解) ・見やすいデータの表現方法を考える。(思考・判断・表現) ・様々なデータを視覚化する方法を考える。(主体的に学習に取り組む態度)	①データの入力 ・データの入力方法を理解しよう。 ・データの入力とその活用を考えよう。 ②データの出力 ・データの読み取りについての基礎知識を身につけよう。 ・データを活用し、グラフで伝えよう。
年間授業時数			(35)時間		

令和三年 高等部・職業（家庭班）年間指導計画

教科・領域名			職業(家庭班)	学年	1～3年
作成責任者				教育課程・類型	Ⅱ 課程・A類型
教科観の点別標	知識及び技能		・職業生活に必要な知識及び技能を身に付ける。 ・使用する道具の適切な扱い方を身に付け、作業の持続性、巧緻性を高める。		
	思考力 判断力 表現力等		・将来の職業生活における自己の目標や課題と向き合い、自ら工夫し改善する力を養う。 ・作業手順、適切な道具の使用方法を理解し、自ら作品を作る力を身につける。		
	学びに向かう力 人間性等		・将来の職業生活の実現や地域社会への貢献に向けて主体的実践的な態度を養う。 ・挨拶、報告、連絡、相談が自ら行える力を身につける。		
学期	月	時数	単元名	単元の目標	学習内容
一学期	4月 ～ 7月	96	・勤労の意義 ・情報機器の活用 ・布製品作り ・各行事に向けた作品製作 ・調理実習、買い物学習 ・清掃 ・学習の振り返り	・勤労に対する意欲や関心を高め他者と協働して主体的に取り組む事ができる。 【知・技/思・判・表/学び】 ・情報セキュリティ及び情報モラルについて理解し情報機器を扱うことができる。 【知・技/思・判・表】 ・実習で使用する道具の危険性を理解し安全な取り扱いを行い作業の持続性、巧緻性を高める。【知・技/思・判】 ・衛生、安全に留意し、協力して調理を行える【知・技/思・判・表】 ・品物の選別、予算を意識した買い物ができる【知・技/思・判・表/学び】 ・日々の振り返り、単元、学期の振り返りで自己の到達度や反省点を表現できる【学び】	・キャリアノート等を活用し働く意義や将来の目標をまとめる。 ・コンピュータや携帯の便利さと危うさを実例で学び表記・記録・計算・通信等の代表的なソフトの使い方を体験する。 ・基礎縫い、刺繍、型取り、裁断、ミシン縫い、アイロン等を行った布製品作り ・調理実習、買い物学習 ・日々の振り返り、自己の反省点の確認。就労の場における挨拶、報告、連絡、相談の仕方について。 ・衛生管理の必要性。清潔を保つ方法を理解することができる。 ・道具の適切な使用法
			・情報機器の活用 ・職業生活 ・布製品作り ・各行事に向けた作品製作 ・販売学習準備 ・調理実習、買い物学習 ・清掃 ・学習の振り返り	・情報セキュリティ及び情報モラルについて理解し情報機器を扱うことができる。 【知・技/思・判・表】 ・卒業後の進路について理解を深め課題や解決策を考えて発表することができる。 【知・技/思・判・表/学び】 ・実習で使用する道具の危険性を理解し安全な取り扱いを行い作業の持続性、巧緻性を高める。【知・技/思・判】 ・衛生、安全に留意し、協力して調理を行える【知・技/思・判・表】 ・品物の選別、予算を意識した買い物ができる【知・技/思・判・表/学び】 ・日々の振り返り、単元、学期の振り返りで自己の到達度や反省点を表現できる【学び】	・コンピュータや携帯の便利さと危うさを実例で学び表記・記録・計算・通信等の代表的なソフトの使い方を体験する。 ・実践的な校内外の実習を体験する。 ・基礎縫い、刺繍、型取り、裁断、ミシン縫い、アイロン等を行った布製品作り ・調理実習、買い物学習 ・適切な接客態度、実践について ・日々の振り返り、自己の反省点の確認。就労の場における挨拶、報告、連絡、相談の仕方について。 ・衛生管理の必要性。清潔を保つ方法。 ・道具の適切な使用法
二学期	9月 ～ 12月	112	・職業生活 ・布製品作り ・各行事に向けた作品製作 ・販売学習準備 ・調理実習、買い物学習 ・清掃 ・学習の振り返り	・卒業後の進路について理解を深め課題や解決策を考えて発表することができる。 【知・技/思・判・表/学び】 ・実習で使用する道具の危険性を理解し安全な取り扱いを行い作業の持続性、巧緻性を高める。【知・技/思・判】 ・衛生、安全に留意し、協力して調理を行える【知・技/思・判・表】 ・品物の選別、予算を意識した買い物ができる【知・技/思・判・表/学び】 ・日々の振り返り、単元、学期の振り返りで自己の到達度や反省点を表現できる【学び】	・基礎縫い、刺繍、型取り、裁断、ミシン縫い、アイロン等を行った布製品作り ・調理実習、買い物学習 ・道具の適切な使用法 ・適切な接客態度、実践について ・衛生管理の必要性。清潔を保つ方法 ・日々の振り返り、自己の反省点の確認。就労の場における挨拶、報告、連絡、相談の仕方について。 ・衛生管理の必要性。清潔を保つ方法。
			・職業生活 ・布製品作り ・各行事に向けた作品製作 ・販売学習準備 ・調理実習、買い物学習 ・清掃 ・学習の振り返り	・卒業後の進路について理解を深め課題や解決策を考えて発表することができる。 【知・技/思・判・表/学び】 ・実習で使用する道具の危険性を理解し安全な取り扱いを行い作業の持続性、巧緻性を高める。【知・技/思・判】 ・衛生、安全に留意し、協力して調理を行える【知・技/思・判・表】 ・品物の選別、予算を意識した買い物ができる【知・技/思・判・表/学び】 ・日々の振り返り、単元、学期の振り返りで自己の到達度や反省点を表現できる【学び】	・基礎縫い、刺繍、型取り、裁断、ミシン縫い、アイロン等を行った布製品作り ・調理実習、買い物学習 ・道具の適切な使用法 ・適切な接客態度、実践について ・衛生管理の必要性。清潔を保つ方法 ・日々の振り返り、自己の反省点の確認。就労の場における挨拶、報告、連絡、相談の仕方について。 ・衛生管理の必要性。清潔を保つ方法。
三学期	1月 ～ 3月	72	・職業生活 ・布製品作り ・各行事に向けた作品製作 ・販売学習準備 ・調理実習、買い物学習 ・清掃 ・学習の振り返り	・卒業後の進路について理解を深め課題や解決策を考えて発表することができる。 【知・技/思・判・表/学び】 ・実習で使用する道具の危険性を理解し安全な取り扱いを行い作業の持続性、巧緻性を高める。【知・技/思・判】 ・衛生、安全に留意し、協力して調理を行える【知・技/思・判・表】 ・品物の選別、予算を意識した買い物ができる【知・技/思・判・表/学び】 ・日々の振り返り、単元、学期の振り返りで自己の到達度や反省点を表現できる【学び】	・基礎縫い、刺繍、型取り、裁断、ミシン縫い、アイロン等を行った布製品作り ・調理実習、買い物学習 ・道具の適切な使用法 ・適切な接客態度、実践について ・衛生管理の必要性。清潔を保つ方法 ・日々の振り返り、自己の反省点の確認。就労の場における挨拶、報告、連絡、相談の仕方について。 ・衛生管理の必要性。清潔を保つ方法。
			・職業生活 ・布製品作り ・各行事に向けた作品製作 ・販売学習準備 ・調理実習、買い物学習 ・清掃 ・学習の振り返り	・卒業後の進路について理解を深め課題や解決策を考えて発表することができる。 【知・技/思・判・表/学び】 ・実習で使用する道具の危険性を理解し安全な取り扱いを行い作業の持続性、巧緻性を高める。【知・技/思・判】 ・衛生、安全に留意し、協力して調理を行える【知・技/思・判・表】 ・品物の選別、予算を意識した買い物ができる【知・技/思・判・表/学び】 ・日々の振り返り、単元、学期の振り返りで自己の到達度や反省点を表現できる【学び】	・基礎縫い、刺繍、型取り、裁断、ミシン縫い、アイロン等を行った布製品作り ・調理実習、買い物学習 ・道具の適切な使用法 ・適切な接客態度、実践について ・衛生管理の必要性。清潔を保つ方法 ・日々の振り返り、自己の反省点の確認。就労の場における挨拶、報告、連絡、相談の仕方について。 ・衛生管理の必要性。清潔を保つ方法。
年間授業時数			(280) 時間		

令和三年 高学部 職業(環境美化班) 年間指導計画

教科・領域名			職業	学年	1～3年
作成責任者				教育課程・類型	Ⅱ 課程・AB類型
教科観の点別目標	知識及び技能	・生活向上のための事柄について理解を深めること。 ・将来の職業生活に係る実践的な技能を身に付けるようにすること。			
	思考力・判断力・表現力等	・将来の職業生活を見据え、必要な事柄を見出して自ら課題を設定し、解決策を考えること。 ・自己や他者の評価を通して、実践を省みて改善すること。			
	学びに向かう力・人間性等	・よりよい社会生活を送るために協働する意識を高め、社会や他者のためにに貢献する喜びを体得すること。			
学期	月	時数	単元名	単元の目標	学習内容
一学期	4月 ～ 7月	96	・授業開き	・年間の授業内容を聞き理解し見通しを持つことができる(思考力・判断力・表現力)	・1年間の授業計画を確認し、1学期の個人目標を立てることで見通しをもつ。
			・職業について	・職業の心得や働くうえでの決まりを理解する(学びに向かう力・人間性等)	・職業の目標を知る。
			・勤労と協働について	・仕事の意義を理解し皆と協力して作業を行うことの大切さを知る(学びに向かう力・人間性等)	・グループワークや話し合いを通して、協働する意義を学ぶ。
			・作業道具の安全な取り扱いについて	・作業道具等の安全な取り扱いについて学び、適切に使用することができる。(知識及び技能)	・作業道具の使い方(熊手、草刈り機、ブローア、剪定ばさみ、カマ、おろし金、調理器具など)を知る。
			・校内外美化作業について	・作業場所や内容にあった手順と必要な道具を考える(知識及び技能)	・校内外美化作業(除草、剪定、リサイクル作業、室内清掃など)を通して、作業手順を知る。
			・1学期のまとめ	・学期を振り返り自己の反省点を発表する(思考力・判断力・表現力)	・1学期の振り返りを行うことで次への目標と見通しをもつ。
二学期	9月 ～ 12月	112	・1学期の振り返りと2学期の目標設定	・1学期を再度振り返り、2学期に達成したい自己目標をたてることことができる(学びに向かう力・人間性等)	・2学期の授業計画を確認し、個人目標を立てることで見通しをもつ。
			・身近な美化活動について	・社会の中の様々なサービスやその方法を学び、作業の中で実践することができる(知識及び技能)	・生活を向上するための身近なリサイクルやサービスを学び、美化活動を行う。
			・学校生活と社会生活のつながりについて	・学校生活でのきまりやルールが社会生活に繋がっていることに気づき、卒業後や就労に向けての基礎的な職業能力を身につけようとする事ことができる(学びに向かう力・人間性等)	・学校生活と社会生活の関連を学ぶことを通して、働くことの意義や、他者と協働することを学ぶ。また、ロールプレイなどを通して、これまで学んだ礼儀作法などを実践することで、基礎的な能力の必要性を学ぶ。
			・2学期のまとめ	・学期を振り返り自己の反省点を発表する(思考力・判断力・表現力)	・2学期の振り返りを行うことで次への目標と見通しをもつ。
三学期	1月 ～ 3月	72	・2学期の振り返りと3学期の目標設定	・2学期を再度振り返り、3学期に達成したい自己目標をたてることことができる(学びに向かう力・人間性等)	・3学期の授業計画を確認し、個人目標を立てることで見通しをもつ。
			・販売学習にむけて	・接客やお金の計算など販売学習に必要な技能を学ぶ(知識及び技能)	・接客用語の練習、電卓を使用した計算練習を行う。
			・リサイクル商品の考案や作成	・販売学習に向けての商品を考案し、製作することができる(知識及び技能)	・リサイクル商品を話し合うことで決定し、製作や準備を行う。
			・接客サービスについて	・来場者が喜ぶサービスや接客方法について考え、準備ができる。(思考力・判断力・表現力)	
			・作業道具の手入れ	・日頃使用している作業道具・倉庫の手入れを丁寧に行うことができる。(知識及び技能)	・日頃使用している作業道具・倉庫の整備を行う。
年間授業時数			280		

令和三年 高学部・職業(洗車)年間指導計画

教科・領域名			職業	学年	1～3年
作成責任者				教育課程・類型	Ⅱ課程・AB類型
教科観の点別標	知識及び技能	・就労に必要な勤労意欲、報告・連絡・相談ができる力を身につける。 ・作業の持続性、巧緻性を高める。			
	思考力 判断力 表現力等	・作業手順を理解し、必要な用具を適切に使用し、作業に取り組むことができる。 ・作業や実習において、自分の成長や課題について改善する意識を養う。			
	学びに向かう力 人間性等	・作業上の安全や作業の効率について考え、他者との協働する意識を育てると共に貢献する喜びを体得する。			
学期	月	時数	単元名	単元の目標	学習内容
一学期	4月 ～ 7月	96	・作業班開き ・職業の心得について ・作業道具の理解と安全 ・洗車作業 ・1学期のまとめ	・作業内容を理解し、見通しをもって授業に臨むことができる(思考力・判断力・表現力) ・職業を行う目的を理解する(学びに向かう人間性)。 ・職業人としての基本的な力を理解する(知識及び技能) ・必要な道具を教師と一緒に確認し、作業に取り組む姿勢を身につける(思考力・判断力・表現力) ・作業手順を理解し、仲間と協力し、集中して取り組むことができる(知識及び技能)(学びに向かう人間性) ・学期を振り返り、自己の成長や課題点を発表する(思考力・判断力・表現力)	・1年間の流れと作業内容を聞き、各自の目標を立てる。 ・「職業の心得」を確認し、身なりや時間を守ることなど、作業学習の目標が、社会人の基礎であることを学習する。 ・作業道具の用途と名前を学習し、安全な使用法を学習する。 ・洗車作業(ボディ洗浄・ワックスがけ・タイヤ洗浄) ・車内清掃(窓ふき・掃除機など) ・一人ひとりの目標達成度を発表する。
二学期	9月 ～ 12月	112	・洗車作業 ・作業道具の理解と安全 ・2学期のまとめ	・作業に必要な報告・連絡・相談する力を身につけ、作業に取り組むことができる(知識及び技能) ・必要な道具を自ら判断し、作業に取り組む姿勢を身につける(思考力・判断力・表現力) ・学期を振り返り、自己の成長や課題点を発表する(思考力・判断力・表現力)	・洗車作業(ボディ洗浄・ワックスがけ・タイヤ洗浄) ・車内清掃(窓ふき・掃除機など) ・作業道具の用途と名前を自分自身で確認する ・一人ひとりの目標達成度を発表する。
三学期	1月 ～ 3月	72	・洗車作業 ・みさき市での取り組み ・3学期のまとめ	・作業を通して、人の役に立つことを理解し、就労への意欲を高めることができる(学びに向かう人間性) ・日頃の成果を確認し、作業の心得を意識しながら行事に取り組むことができる(知識及び技能) ・1年間を振り返り、自己の成長や課題点を発表する(思考力・判断力・表現力)	・洗車作業(ボディ洗浄・ワックスがけ・タイヤ洗浄) ・車内清掃(窓ふき・掃除機など) ・販売学習会(保護者の車を洗車) ・接客、料金の受け渡し ・1年間の目標達成度を発表する。
年間授業時数			(280)時間		

令和三年 高等部・職業(農業)年間指導計画

教科・領域名			職業	学年	1～3年
作成責任者				教育課程・類型	Ⅱ 課程・A類型
教科観の点別目標	知識及び技能	・草花や野菜の扱い方及び栽培に関わる知識について理解を深める。 ・作業の持続性、巧緻性を高める。			
	思考力 判断力 表現力等	・作業手順を理解し、必要な用具を適切に使用し、作業に取り組むことができる。 ・作業や実習において、自分の成長や課題について改善する意識を養う。			
	学びに向かう力 人間性等	・作業上の安全や作業の効率について考え、他者と協働する意識を育てると共に貢献する喜びを体得する。			
学期	月	時数	単元名	単元の目標	学習内容
一学期	4月 ～ 8月	96	・授業開き ・勤労の意義 ・情報機器の活用 ・職業について ・勤労と協働 ・季節の野菜・草花の栽培 ・農機具の安全な取り扱いについて ・1学期のまとめ	・年間の授業内容を聞き理解し見通しを持つことができる(思考力) ・勤労に対する意欲や関心を高め他者と協働して主体的に取り組む事ができる。【知・技/思・判・表/学び】 ・情報セキュリティ及び情報モラルについて理解し表記・記録・計算・通信等に係る情報機器を扱うことができる。【知・技/思・判・表】 ・職業の心得を理解する(学びに向かう力・人間性) ・仕事の意義を理解し皆と協力して作業を行うことの大切さを知る(人間性) ・季節の野菜や草花を知りその栽培を行う(知識及び技能) ・農機具の危険性を知るとともに安全な取り扱いについて学ぶ(思考・知識・技能) ・学期を振り返り自己の反省点を発表する(思考・表現)	・一年間の流れを聞き、各自の目標を立て発表を行う。 ・キャリアノート等を活用し働く意義や将来の目標をまとめる。 ・コンピュータや携帯の便利さと危うさを実例で学び表記・記録・計算・通信等の代表的なソフトの使い方を体験する。 ・身なりや時間を守ることの大切さ等職業の目標を知り理解する。 ・仕事の意義を理解し作業を通じ協働作業の大切さを学ぶ。 ・季節の野菜や草花栽培(播種・鉢上げ・定植・収穫) ・農機具の種類を知り、実際に使用してその危険性と安全な使用方法を学ぶ。 ・1学期を振り返り自己の反省点を書き皆の前で発表を行う。
			・情報機器の活用 ・職業生活 ・季節の野菜・草花の栽培 ・収穫と調整 ・各行事に向けた草花・野菜栽培 ・農機具の手入れ ・2学期のまとめ	・情報セキュリティ及び情報モラルについて理解し表記・記録・計算・通信等に係る情報機器を扱うことができる。【知・技/思・判・表】 ・卒業後の進路について理解を深め課題や解決策を考えて発表することができる。【知・技/思・判・表/学び】 ・季節の野菜や草花を知りその栽培を行う(知識及び技能) ・野菜の調整袋詰めを行うことができる(思考・判断・技能) ・各行事の意義を理解し野菜や草花の特性を学び栽培を行う(知識及び技能) ・日頃使用している農機具を丁寧に洗ひ手入れを行うことができる。(人間性) ・学期を振り返り自己の反省点を発表する(思考・表現)	・コンピュータや携帯の便利さと危うさを実例で学び表記・記録・計算・通信等の代表的なソフトの使い方を体験する。 ・実践的な校内外の実習を体験する。 ・季節の野菜や草花栽培(播種・鉢上げ・定植・収穫) ・収穫した野菜を規定量に計量し袋詰めを行う。 ・学習発表会、卒業式をイメージし野菜や草花の栽培を行う。 ・ヘラ、スコップ、ハサミ、畝立て機など日頃使用している道具の洗浄を行う。 ・2学期を振り返り自己の反省点を書き皆の前で発表を行う。
二学期	9月 ～ 12月	112			
三学期	1月 ～ 3月	72	・職業生活 ・販売学習にむけて ・畑の整備 ・農機具の手入れ ・年間のまとめ	・卒業後の進路について理解を深め課題や解決策を考えて発表することができる。【知・技/思・判・表/学び】 ・接客やお金の計算など販売学習に必要な技能を学ぶ(知識・思考力・判断力) ・次年度に向けて畑の整備を行う(知識・技能) ・日頃使用している農機具を丁寧に洗ひ手入れを行うことができる。(人間性) ・学期を振り返り自己の反省点を発表する(思考・表現)	・実践的な校内外の実習を体験する。 ・接客用語の練習、電卓を使用した計算練習を行う。 ・整地、畝立て、堆肥入れ、マルチ張りなど次年度に向けた農場整備を行う。 ・ヘラ、スコップ、ハサミ、畝立て機など日頃使用している道具の洗浄を行う。 ・年間を振り返り自己の反省点を書き皆の前で発表を行う。
年間授業時数			(280)時間		

令和三年 職業(木工班)年間指導計画

教科・領域名			職業(木工班)	学年	1. 2. 3年
作成責任者				教育課程・類型	Ⅱ 課程・A類型
教科観の点目別標	知識及び技能	・職業生活に必要な知識及び技能を身に付ける。			
	思考力・判断力・表現力等	・将来の職業生活における自己の目標や課題と向き合い、自ら工夫し改善する力を養う。			
	学びに向かう力・人間性等	・将来の職業生活の実現や地域社会への貢献に向けて主体的実践的な態度を養う。			
学期	月	時数	単元名	単元の目標	学習内容
一学期	4月	96	・勤労の意義	・勤労に対する意欲や関心を高め他者と協働して主体的に取り組む事ができる。【知・技/思・判・表/学び】	・キャリアノート等を活用し働く意義や将来の目標をまとめる。
	7月		・情報機器の活用	・情報セキュリティ及び情報モラルについて理解し表記・記録・計算・通信等に係る情報機器を扱うことができる。【知・技/思・判・表】	・コンピュータや携帯の便利さと危うさを事例で学び表記・記録・計算・通信等の代表的なソフトの使い方を体験する。
二学期	9月	112	・【各班の実習】 ・作業班開き	・授業内容を理解し見通しを持つことができる(思考力)	・1年間の流れを聞き、各自の目標を立てて発表を行う
	12月		・職業について	・職業学習の心得を理解する(学びに向かう力・人間性) ・仕事の意義を理解し周りと協力して作業に取り組むことができる(人間性) ・木工具を安全に使用できる (判断力)	・身なりや時間を守ることの大切さ等、9つある職業学習の目標を知り理解する ・仕事の意義を理解し、作業を通じ協働作業の大切さを学ぶ ・木工具の種類を知り、安全な使用法を学ぶ
三学期	1月	72	・作業の安全	・作業手順を理解し、集中して取り組む(知識・技能)	・作品製作に集中して自主的に取り組む
	3月		・木材加工	・1学期を振り返り自己の成長や課題点を発表する(思考・表現)	・1学期を振り返り自己の成長や課題点を書き、みんなの前で発表を行う
年間授業時数			(280)時間		

令和三年 高学部・職業（窯業）年間指導計画

教科・領域名			職業	学年	1～3年
作成責任者				教育課程・類型	Ⅱ 課程・A類型
教科観の点目別標	知識及び技能		・陶土や釉薬の扱い方及び陶器作り関わる知識について理解を深めることができる。 ・作業の確実性や持続性、巧緻性を高め、状況に応じた作業をすることができる。		
	思考力 判断力 表現力等		・作業手順を理解し、安全かつ効率よく作業ができるよう工夫し作業に取り組むことができる。 ・自分の役割を自覚し、自らの成長や課題について評価・改善する意識を養うことができる。 ・将来の職業生活を踏まえ、作業内容の特性を考えつつ自ら体調の管理ができる。		
	学びに向かう力 人間性等		・他者と協調して効率よく作業をし、必要に応じて相談したり、助言を得たりして課題を解決することができる。 ・自らの働きかけにより地域社会に貢献できる喜びを体得し、働くことへの意欲を持つことができる。		
学期	月	時数	単元名	単元の目標	学習内容
一学期	4月 ～ 7月	96	・授業開き	・年間の授業内容を聞き理解し見通しを持つことができる。(思考力)	・一年間の流れを聞き、各自の目標を立て発表を行う。
			・職業について	・働くために必要なこと、職業の心得を理解することができる。(学びに向かう力・人間性)	・身なりや時間を守ることの大切さ等9つある職業の目標を知り理解する。
			・勤労と協働	・仕事の意義を理解し皆と協力して作業を行うことの大切さを知る。(人間性)	・仕事の意義を理解し作業を通じ協働作業の大切さを学ぶ。
			・粘土作り ・陶器作り(皿類)	・粘土の特性を理解し、粘土の再生方法がわかる。皿などの成型工程を知り、手順を確認しながら作業を進めることができる。(知識及び技能)	・粘土の再生作業、陶器の成型作業(すいひ作業・土練り・成型・焼成)
			・機械の安全な取り扱いについて	・使用する機械の危険性を知るとともに安全な取り扱いについて学ぶ。(思考・知識・技能)	・土練機や攪拌機、グラインダーなど機械の種類と使用方法を知り、実際に使用してその危険性と安全な使用方法を学ぶ。
			・1学期のまとめ	・学期を振り返り自己の反省点を発表する。(思考・表現)	・1学期を振り返り自己の反省点を書き皆の前で発表を行う。
二学期	9月 ～ 12月	112	・粘土作り ・陶器作り(皿、碗、コースターなど)	・様々な陶器の陶製方法を知り、手順に沿って作業を行う。釉薬について理解し、丁寧に作業を進めることができる。(知識及び技能)	・粘土の再生作業、陶器の成型作業(すいひ作業・土練り・成型・釉薬かけ、焼成)
			・陶器作り(注文商品、コラボ商品)	・責任持ち受注を受けた商品の納期を考えつつ完成度の高い陶製品を作る。(思考・判断・技能)	・商品作り(各種コラボ商品、注文商品)
			・各行事に向けた陶器作り	・各行事の意義を理解し、客が購入したいと思う商品を考える。丁寧な作業を行い完成度の高い陶製品を作る。(知識及び技能)	・陶製品作り(みさき市や学習発表会の販売学習に向けた陶製品作り)
			・用具の手入れ	・日頃使用している道具や機械類の手入れを行い整理整頓することができる。(人間性)	・日頃使用している道具の手入れなどを行う。
			・2学期のまとめ	・学期を振り返り自己の反省点を発表する。(思考・表現)	・2学期を振り返り自己の反省点を書き皆の前で発表を行う。
三学期	1月 ～ 3月	72	・販売学習にむけて	・接客やお金の計算など販売学習に必要な技能を学ぶ(知識・思考力・判断力)	・接客用語の練習、電卓やレジスターを使用した計算練習を行う。
			・陶器作り(卒業記念品)	・習得した知識や技能を活用し、行事の意義を理解し、相手が喜ぶ陶製品を作る。(知識及び技能)	・陶製品作り(卒業記念品のお皿作り)
			・用具の手入れ、作業場の清掃	・日頃使用している用具の手入れ、作業場の整理整頓、清掃を行うことができる。(人間性)	・様々な道具や機械類の手入れ整理整頓を行い、作業場の清掃、整備を行う。
			・年間のまとめ	・学期を振り返り自己の反省点を発表する(思考・表現)	・年間を振り返り自己の反省点を書き皆の前で発表を行う。
年間授業時数			(280) 時間		

令和三年度 高等部(数学)年間指導計画

教科・領域名		数学	学年	3年	
作成責任者			教育課程・類型	Ⅱ 課程・A類型	
教科観の点別標	知識及び技能	・数量や図形などについて基礎的・基本的な概念や性質を理解し、事象を数学的に解釈したり、表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。			
	思考力 判断力 表現力等	・日常の事象を数理的に捉え、見通しをもち筋道を立てて考える力、基礎的・基本的な数量や図形の性質などを見だし、統合的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を明確・的確に表現する力を身に付けるようにする。			
	学びに向かう力 人間性等	・数学的活動の楽しさや数学の良さが分かり、学習したことを振り返り、課題を解決しようとする態度を養う。 ・生徒同士でコミュニケーションを図りながら、事象の解決に取り組むことができるようにする。			
学期	月	時数	単元名	単元の目標	学習内容
一学期	4月 ～ 7月	24	【数と計算】 ○整数の性質及び構成 ○分数 ○正の数と負の数 ○文字を用いた式	(知識・技能) ・偶数と奇数に類別されることや約数、倍数について理解することができる。 ・異分母の分数の加法・減法、分数の乗法・除法の計算ができる。 ・具体的な場面で正の数と負の数を用いて表したり、処理したりすることができる。 (思考・判断・表現) ・乗法及び除法に着目し、観点を決めて整数を類別する仕方を考えたり、数の構成について考察したりするとともに、日常生活に生かすことができる。 ・数の意味と表現、計算について成り立つ性質に着目し、計算の仕方を多面的に捉え考えることができる。 ・正の数と負の数を具体的な場面で活用することができる。 (学びに向かう力・人間性等) ・身の回りにある数に親しみ、学んだことの良さを感じながら学ぼうとしている。	・偶数、奇数 ・約数、倍数 ・分数の加法、減法、乗法、除法 ・正の数と負の数の加法、減法、乗法、除法 ○学習プリントに沿って学習する ○単元テスト
			【図形】 ○平面図形 ○図形の移動 【変化と関係】 ○割合 ○比例/反比例	(知識・技能) ・角の二等分線、線分の垂直二等分線、垂線などの基本的な作図をすることができる。 ・平行移動、対称移動及び回転移動について理解することができる。 (思考・判断・表現) ・図形の性質に着目し、作図の方法について考察し表現することができる。 ・図形の移動に着目し、2つの図形の関係について考察し表現することができる。 (知識・技能) ・百分率の意味について理解し、百分率を用いて表すことができる。 ・割合を用いて2つの以上の数量を比べることができる。 ・比例の関係を利用し、問題を解決することができる。 (思考・判断・表現) ・日常生活の問題を、割合を活用して解決している。 ・比例が活用できる場面において、比例の関係を生かして問題を解決している。	・線分の垂直二等分線の作図 ・角の二等分線の作図 ・垂線の作図 ・平行移動・対称移動・回転移動する図形の作図 ○学習プリントに沿って学習する ○単元テスト ・百分率の計算 ・簡単な比例の関係 ・2つの数量の関係 ・比 ○学習プリントに沿って学習する ○単元テスト
二学期	9月 ～ 12月	28	【データの活用】 ○データの収集とその分析	(知識・技能) ・代表値の意味や求め方を理解することができる。 ・度数分布を表す表や柱状グラフの用い方を理解することができる。 ・目的に応じてデータを収集したり、適切な手法を選択したりするなど、統計的な問題解決の方法を理解することができる。 (思考・判断・表現) ・目的に応じてデータを集めて分類整理し、データの特徴や傾向に着目し、代表値などを用いて問題の結論について判断することができる。 (知識・技能) ・起こりうる場合を順序良く整理するための図や表などの用い方を理解することができる。 (思考・判断・表現) ・事象の特徴に着目し、順序よく整理する観点を決めて、落ちや重なりなく調べる方法を考察することができる。	・ヒストグラム、代表値 ・百分率、円グラフ、帯グラフ ・資料の平均、度数分布 ○学習プリントに沿って学習する ○単元テスト
			○起こりうる場合	・起こりうる場合の数 ○学習プリントに沿って学習する ○単元テスト	
三学期	1月 ～ 3月	18			
年間授業時数			(70)時間		

令和三年度 高等部(総合的な学習の時間)年間指導計画

教科・領域名			総合的な学習の時間	学年	3年
作成責任者				教育課程・類型	Ⅱ 課程・A類型
教科観の点別目標	知識及び技能	各実習期間の事前・事後学習を通して、それぞれの職業実習(木工・窯業・家庭・農業・洗車・環境美化)班での必要な知識や技能を習得する。			
	思考力 判断力 表現力等	校内外における実習や交流学习で学んだことをまとめ、発表活動を行い、学んだことを伝えることができる。			
	学びに向かう力 人間性等	実習での事前・事後学習や交流学习を通して将来における自己の役割を自覚する態度を育てる。			
学期	月	時数	単元名	単元の目標	学習内容
一学期	4月 ～ 7月	12	・前期実習の事前学習 ・前期実習の事後学習	・現場実習、卒業後の進路について意識を高める。また、後輩に模範となる行動ができるようになる。(学びに向かう力・人間性) ・実習に対する態度や心得を学び、身につける。(知識及び技能) ・社会人としてのマナーやモラルを学ぶ。(知識及び技能) ・前期実習の成果を確認し達成感を得る。また働くことの意義を理解する。(思考・判断)	・現場実習(抽出)の事前学習(個人目標、返事、連絡・報告、服装、課題等) ・社会の仕組みや、働く上で必要な技能や約束、望ましい態度を学習する。 ・社会人としてのマナー(挨拶、言葉遣い) ・現場実習(抽出)の事後学習(個人目標、返事、連絡・報告、服装、課題等)
二学期	9月 ～ 12月	14	・後期実習の事前学習 ・後期実習の事後学習	・現場実習、卒業後の進路について意識を高める。また、後輩に模範となる行動ができるようになる。(学びに向かう力・人間性) ・実習に対する態度や心得を学び、身につける。(知識及び技能) ・社会人としてのマナーやモラルを学ぶ。(知識及び技能) ・前期実習の成果を確認し達成感を得る。また働くことの意義を理解する。(思考・判断)	・現場実習(抽出)の事前学習(個人目標、返事、連絡・報告、服装、課題等) ・社会の仕組みや、働く上で必要な技能や約束、望ましい態度を学習する。 ・社会人としてのマナー(挨拶、言葉遣い) ・現場実習(抽出)の事後学習(個人目標、返事、連絡・報告、服装、課題等)
三学期	1月 ～ 3月	9	・学習発表会(生産物販売会等)の事前学習 ・学習発表会(生産物販売会等)の事後学習	・日頃の学習の成果を確認し、学習発表会(生産物販売会等)へ向け、意識を高める。(学びに向かう力・人間性) ・学習発表会の成果を確認し達成感を得る。また働くことの意義を理解する。(思考・判断)	・学習発表会(掲示物、販売物、販売会場)の準備 ・学習発表会(掲示物、販売物、販売会場)の振り返り
年間授業時数			(35) 時間		

令和三年 高等部(特別の教科 道徳)年間指導計画

教科・領域名			道徳科	学年	1・2・3年
作成責任者			教育課程・類型		Ⅱ 課程・AB類型
道徳科の視点	自分自身に関する事	・望ましい生活習慣を身に付け、自主・自律の精神を重んじ、責任ある行動をする態度を養う。 (善悪の判断、自立、自由と責任、正直、誠実、節度、節制、個性の伸長、希望と勇、努力と強い意志)			
	人との関わりに関する事	・礼儀正しく、思いやりをもって人と接するとともに、広い心をもって異なる意見や立場を尊重し、経験を通して人間関係を築いていく態度を養う。 (親切、思いやり、感謝、礼儀、友情、信頼、相互理解、寛容)			
	集団や社会との関わりに関する事	・法やきまりの意義を理解し、社会の一員として働くことや社会参加することの充実感を味わう態度を養う。 (規律の尊重、公正、公平、社会正義、勤労、公共の精神、家族愛、家庭生活の充実、よりよい学校生活 集団生活の充実、伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度、国際理解、国際親善)			
	生命や自然、崇高な物との関わり	・自然の偉大さやかけがえのない生命の尊さを理解し人間として生きる喜びを感じる心を育てる。 (生命の尊さ、自然愛護、感動、畏敬の念)			
学期	月	時数	単元名	単元の目標	学習内容
一学期	4月 ～ 7月	12	○今の自分を見つめて	・今の自分自身を見つめて、自分を知り、みんなに紹介することができる。【自分・人】	・「道徳ファイル」を作成し活用する。 ・名前や特技、好きな食べ物など自分のことを、相手に知ってもらう。
			○自分の役割と責任 ○勤労や奉仕を通して	・働くことや社会に奉仕することの充実感を味わうとともに、その意義を理解し、公共のために役立つことをすることができる。【自分・集団や社会】	・集団の役割を知り、自分の果たしている役割について考える。 ・校内・現場実習の体験を通して、働くことについて考える。
			○命あるものを大切に(慰霊の日にむけて)	・生命の尊さを知り、命あるものを大切にすることができる。【生命や自然】	・沖縄戦の資料などを通して命の大切さや尊さについて考える。
			○礼儀正しく真心をもって	・時と場をわきまえて、礼儀正しく真心をもって接することができる。【人】	・伝統的な礼儀作法や日常的な礼儀作法について学び、相手に心を伝える作法について考える。
二学期	9月 ～ 10月	14	○希望と勇気をもってくじけずに ○短所を改め、長所を伸ばして	・より高い目標を立て、希望と勇気を持ち、困難があってもあきらめずに努力することができる。【自分】	・偉人のエピソードから、目標を持って一步一步努力していくことの大切さについて考える。 ・自分の長所短所について考え、自分らしさや個性を発揮するにはどうすればよいか考える。 ・家族のよさについて考えて、家庭の中で自分ができることを考える。 ・沖縄の文化や自然にふれる。
			○家族の幸せをもとめて ○郷土を愛する心	・家族の幸せをもとめて、進んで家族の役に立とうとすることができる。【集団・人】 ・自分の郷土の伝統と文化にふれ、郷土を愛する心を持つことができる。【集団・生命自然】	
	11月 ～ 12月		○公共のために役立つこと ○法や決まりを守って	・社会に奉仕することの意義を理解し、公共のために役立つことをすることができる。【集団、社会】 ・法やきまりの意義を理解し、進んでそれらを守り、自他の権利を大切にしようとする。【集団社会・人】	・自分のなりたい職業ややってみたいボランティアについて考える。 ・社会にあるマナーやきまりについて確認し、なぜ守らなければいけないのかを考える。
			○相手の立場に立って親切に ○互いに信頼し学び合う	・思いやりの心をもち、相手の立場に立って親切にすることができる。【自分・人】 ・友だちと信頼し学び合って友情を深め、人間関係を築いていくことができる。【人・集団】	・相手の気持ちや立場を考えて、思いやりを表現する方法を考える。 ・友だちとの付き合い方について何を大事にしたいか考える。
三学期	1月 ～ 3月	9	○よりよい校風をもとめて	・先生や学校の人々を敬愛し、みんなで協力しあって、よりよい学級や学校にするために、進んで行動することができる。【人・集団】	・美咲特別支援学校の自慢できる所や好きな所を見つけ、よりよい学校にするために自分たちにできることを考える。
			○自律的で責任ある行動を	・自律的に判断し、責任のある行動をすることができる。【自分】	・自由について考えを深め、自由だからそ気をつけるべきことは何かを考える。
			○振り返り 「心の本が大きくなったかな」	・自分の行動や学習を振り返ることができる。【自分】	・自分の行動を振り返る。授業態度や生活態度、言葉遣いや人間関係など。
年間授業時数			(35) 時間		

令和三年 高等部(特別活動)年間指導計画

教科・領域名			特別活動	学年	3年
作成責任者				教育課程・類型	Ⅱ 課程・AB類型
教科観の点別標	知識及び技能		様々な集団活動の意義や活動を行う上で必要となることについて理解し、行動の仕方を身に付けるようにする。		
	思考力 判断力 表現力等		集団や自己の生活、人間関係の課題を見出し、解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したりすることができるようにする。		
	学びに向かう力 人間性等		自主的、実践的な集団活動を通して身に付けたことを生かして、主体的に集団や社会に参画し、生活及び人間関係をよりよく形成するとともに、人間としての在り方生き方についての自覚を深め、自己実現を図ろうとする態度を養う。		
学期	月	時数	単元名	単元の目標	学習内容
一学期	4月 ～ 7月	12	- 入学式・終業式 - 身体測定 - 生徒総会 - 火災避難訓練 - 学校間交流	- 体験的な活動を通して、集団への所属感や連帯感を深める。(学びに向かう人間性等) - 健全な発達や健康の維持を目指す。(知識及び技能) - 生徒同士協力して学校生活の充実と後方に向けても意識を持つ。(思考・判断・表現) - 防災についての理解を深めて、実践的な対応力を高める。(知識及び技能) - 地域の仲間と関わることを通して、自己を見つめ互いの理解を深める。(思考・判断・表現、学びに向かう人間性等)	- 入学式、終業式の実施。 - 身体測定、内科検診、胸部レントゲン、心電図検査の実施。 - 生徒総会の運営と実施。 - 火災避難訓練の実施。 - 学校紹介のビデオレター作成やプレゼントの交換を通して交流を実施。
二学期	9月 ～ 12月	14	- 始業式・終業式 - 地震津波避難訓練 - 校内陸上大会 - 生徒会役員選挙 - 校外学習	- 体験的な活動を通して、集団への所属感や連帯感を深める。(学びに向かう人間性等) - 災害についての理解を深めて、実践的な対応力を高める。(知識及び技能) - 健全な発達や健康維持を目指す。(学びに向かう力人間性等) - 選挙について学び、自分で候補者を選んで投票する。(思考・判断・表現) - 公共でのマナーやルールを学ぶ。(学びに向かう力人間性等)	- 始業式、終業式の実施。 - 地震津波避難訓練の実施。 - 校内陸上大会の実施。 - 生徒会役員選挙の実施。 - 校外学習の計画と実施。
三学期	1月 ～ 3月	9	- 始業式、卒業式、修了式 - 学習発表会 3年生を送る会	- 体験的な活動を通して、集団への所属感や連帯感を深める。(学びに向かう人間性等) - 日頃の学習成果を発表し、自分の役割を意識して最後までやり遂げることができる。(思考・判断・表現、学びに向かう人間性等) - 支えてくれた後輩や先生方へ感謝の気持ちを込めて、生徒同士協力して活動する。(思考・判断・表現)	- 始業式、卒業式、修了式の実施。 - 学習発表会の実施。 3年生を送る会の実施。
通年を通して行う			ホームルーム活動	- 学校生活をよりよくするための課題を見出し解決するために話し合うことができる。(思考・判断・表現) - 役割を分担し協力して実践したり、話し合いを通して自分の意見や意思を示し、他者の意見を尊重することができる。(思考・判断・表現、学びに向かう人間性等)	- ホームルームで学級や学校生活での諸問題を話し合う。 - 社会生活を行う上での様々な事柄(自他の個性の理解と尊重、男女相互の理解と協力、国際理解と国際協力、青年期の悩みと課題等)に関する学習の実施。
年間授業時数			(35) 時間		

令和三年 高等部(美術)年間指導計画

教科・領域名			美術	学年	3年
作成責任者				教育課程・類型	Ⅱ 課程・A類型(1・2グループ)
教科観の点別目標	知識及び技能	意図に応じて表現方法を工夫し、自分らしく表現できるようにする。			
	思考力 判断力 表現力等	造形的なよさや美しさ、表現の意図や工夫などを考え、豊かに発想して構想を練り美術に対する見方や感じ方を深める。			
	学びに向かう力 人間性等	主体的に美術の活動に取り組み、創造活動の喜びを味わい心豊かな生活を創造する態度を養う。			
学期	月	時数	単元名	単元の目標	学習内容
一学期	4月 ～ 7月	24	・描きとめる楽しみ ・色彩の基礎 ・自画像	・自分の好きな物について考え説明することができる。 ・好きな材料を使って自由に表現することができる。(思・判・表) ・三原色を混ぜ、目指す色を作ることができる。 ・色の特性を知ることができる。(知・技) ・自分の顔をよく観て細部まで丁寧に描くことができる。(思・判・表) ・自分や友だちの存在を大事に思うことができる。(主)	・自分の好きなものについて発表し合い友だちの話を聞く。 ・マジックや色鉛筆、絵の具など好きな材料を使って自分らしい絵を描く。 ・赤青黄色の絵の具を混ぜてきれいな色になるよう考えながら塗る。 ・顔の輪郭や目鼻口の位置を鏡で確認し、バランスを確認しながら描く。 ・みんなの作品のよいところを見つけ発表し合う。
二学期	9月 ～ 12月	28	・空間を演出する ・モビールづくり ・多色刷り版画	・演出された空間のよさや美しさ、表現の工夫に関心を持つことができる。(主) ・材料や色の組み合わせを考え、組み立てることができる。(思・判・表) ・道具を安全に使用することができる。(知・技) ・版画の特性や作業工程を理解し、自分らしい表現ができる。(思・判・表) ・道具を安全に使うことができる。 ・彫刻刀の特性を理解し、工夫して彫る。(知・技)	・視聴覚教材や作品例を鑑賞し、空間演出について学ぶ。 ・紙類やセロファン等を使いパーツを造りバランスを考えながら組み立てる。 ・安全に木を付けながら、正しい道具の使い方を学ぶ。 ・多色刷りの特徴や工程を知る。 ・彫刻刀やニードル等で丁寧に彫る。 ・作業工程を理解して道具を使用する。
三学期	1月 ～ 3月	18	・卒業式壁画制作 ・世界の美術作品 ・1年のまとめと作品鑑賞	・卒業生をお祝いする気持ちを育み、気持ちを込めて制作することができる。(思・判・表) ・世界の美術作品を鑑賞し、その美しさを感じることができる。(主) ・1年間の学習を振り返り、他の人の作品を鑑賞して、良い点や工夫した点に気づき伝えることができる。(主)	・卒業生の顔を思い浮かべながら、テーマに沿って自分らしい表現で描く。 ・いろいろな美術作品に触れ、感想を話し合う。 ・授業を通して頑張ったことや難しかった所を発表し合う。 ・自分の作品と友だちの作品をよく見て違いや良さを発見する。
年間授業時数			(70)時間		

令和三年 高等部(保健体育)年間指導計画

教科・領域名			保健体育	学年	3年
作成責任者				教育課程・類型	Ⅱ課程・A類型
教科観の点別標	知識及び技能		・各種の運動を行うことによって体力や技能を高め、健康安全について理解する。		
	思考力 判断力 表現力等		・各種の運動や健康・安全について、自分の課題を知り、目標達成に向け努力する力を育てる。		
	学びに向かう力 人間性等		・生涯にわたって運動に親しむことや自他の心と体を大切にする力を育てる。		
学期	月	時数	単元名	単元の目標	学習内容
一学期	4月 ～ 7月	36	・集団行動	・合図によって行動し、集合・整列ができる。(知識・学び)	・集合、整列(号令、姿勢、気をつけ、前へならえ、回れ右、行進等)
			・体操	・体操を行い、各関節や筋肉をほぐすことができる。(思考・表現)	・音楽に合わせて身体部位をほぐす。(ラジオ体操、ストレッチ体操、特体連ダンス)
			・からだづくり	・色々な運動を組み合わせて、体力の向上を図る。(技能・思考力)	・サーキットトレーニング
			・新体力テスト	・自分の基礎的運動能力や体力を知り、課題を見つけることができる。(知識・技能・思考力・学び)	・50m走、100m走、ボール投げ、握力、上体起こし、反復横跳び、長座体前屈、立ち幅跳び、シャトルラン
			・水泳	・水泳のマナーを守り、安全に留意して泳ぐことができる。(知識・技能・判断力・学び)	・水慣れ、水中ウォーミングアップ ・補助具を活用した泳法 ・呼吸法(息継ぎ)
二学期	9月 ～ 12月	42	・陸上競技 (校内陸上競技大会) (特体連体育大会)	・走、跳、投の運動を通して、基礎的運動能力を養うことができる。(知識・技能) ・自己記録に挑戦することができる。(思考・判断)	・ストレッチ体操 ・スタートダッシュ、腕振り(フォーム) ・リレー・バトンパスの練習 ・ソフトボール投げ、走り幅跳び ・記録会 ・50m走、100m走、リレーバトンパス
			・ダンス ・郷土の踊り	・仲間と楽しく踊り、身体を動かすことができる。(思考・表現・学び)	・特体連ダンス ・エイサー(パーランクー、大太鼓)
			・持久走	・長い距離を止まらずに、最後まで走ることができる。(技能・思考・学び) ・健康安全に気をつけて、体力を養うことができる。(思考・判断)	・時間走、ペース走 ・呼吸法、腕振り ・インターバルトレーニング ・ストレッチ体操 ・感染症予防(手洗い、うがいの徹底)
三学期	1月 ～ 3月	27	・持久走 (校内マラソン大会) (特体連駅伝競走大会)	・長い距離を止まらずに、最後まで走ることができる。(技能・思考・学び) ・健康安全に気をつけて、体力を養うことができる。(思考・判断)	・時間走、ペース走 ・呼吸法、腕振り ・インターバルトレーニング ・ストレッチ体操 ・風邪予防(手洗い、うがいの徹底)
			・球技	・球技の基本的な動きができる。(知識・技能) ・ルールを守り、協力してゲームを楽しむことができる。(思考・判断力)	・パス、キャッチ、ドリブル、キック、シュートなどの基本動作練習 ・各球技のルール(特別ルールの工夫) ・攻め方、守り方(作戦の立て方)
			・保健(性教育)	・男女の体の違いや、自分の身体の変化について理解することができる。(知識・思考・判断力・学び)	・二次性徴(男女の体の違い) ・男女の関わり方、距離感 ・身体の清潔、風邪予防
年間を通して			・身の周りの清潔(手洗い、うがい、爪の手入れ、清潔な衣服、汗をかいた後の着替え)排泄後の後処理 ・身体の清潔、風邪の予防、咳エチケット(マスク)、衣服の調整(寒暖差)、暑さ対策(水分補給、休養)		
年間授業時数			(105)時間		

令和三年 高等部(理科)年間指導計画

教科・領域名			理科	学年	3年
作成責任者				教育課程・類型	Ⅱ 課程・A類型
教科観の点別標	知識及び技能	・自然の事物・現象についての基本的な理解を図り、観察・実験などに関する初歩的な技能を身に付けるようにする。			
	思考力 判断力 表現力等	・観察・実験などを行い、解決の方法を考える力を養う。			
	学びに向かう力 人間性等	・自然を愛する心情を養うとともに、学んだことを生活に生かそうとする態度を養う。			
学期	月	時数	単元名	単元の目標	学習内容
一学期	4月 ～ 7月	12	植物 動物 微生物 音波	・植物の発芽・成長に必要な条件を理解できる。観察・実験に関する初歩的な技能を身につけることができる。(知識・技能) ・植物の世話ができる。(人間性) ・植物の発芽・成長に関わるよりよい条件を考え表現できる。(思考・判断・表現) ・動物の特徴を理解することができる(知識・技能) ・微生物のはたらきを理解し、身近な発酵食品を探したり作ったりすることができる(思考・判断・学び) ・音の伝わり方を理解できる。(知識) ・糸電話を作成し、音の伝わりやすい条件を考え表現できる。(思考・判断・表現)	・虫眼鏡の使い方 ・植物の観察 ・植物の栽培①(例:かいわれ大根) ・沖縄の動物クロスワードパズル ・脊椎動物の特徴と分類 ・昆虫の観察 ・発酵食品探し ・ヨーグルト作り ・糸電話作り
二学期	9月 ～ 12月	14	気象 自然災害 植物	・天気の変化が雲の量や動きと関係があることを理解できる(知識・技能) ・気象情報から天気の変化を予想することができる(思考・判断・表現・学び) ・自然災害が起こるしくみを理解できる(知識・技能) ・自然災害が起こった際の対応について考え、表現できる(思考・判断・表現・学び) ・植物の結実に必要な条件を理解できる。(知識) ・植物の世話ができる。(人間性) ・植物の結実に関わるよりよい条件を考え発表できる。(思考・判断・表現)	・天気図の読み方 ・雲の種類 ・雲を作る ・季節による気象の変化と特徴 ・地球のプレート ・地震の起こり方 ・津波の起こり方 ・台風のでき方 ・火山 ・植物の栽培と観察②(例:ミニトマト)
三学期	1月 ～ 3月	9	物質 身の回りの薬品	・身の回りにある物質の特徴を理解し、伝導性を調べる実験の初歩的な技能を身につけることができる。(知識・技能) ・身の回りの薬品の性質を理解できる。(知識・理解) ・薬品活用方法を知り、実践できる(思考・判断・表現・学び)	・プラスチック・金属・ガラスの性質 ・電気伝導実験(豆電球が点くかな?) ・せっけん・洗剤 ・界面活性剤の働きの観察 ・酸・アルカリ ・身の回りの水溶液のpH値調べ ・重曹・酢・クエン酸の性質 ・炭酸水を作ろう ・薬品を使って掃除をしよう
年間授業時数			(35)時間		

令和三年 高等部(家庭科)年間指導計画

教科・領域名			家庭科	学年	3年
作成責任者				教育課程・類型	Ⅱ 課程・A類型
教科観の点別標	知識及び技能		家族・家庭の機能について理解を深め、生活の自立に必要な家族・家庭・衣食住、消費や環境等についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。		
	思考力・判断力・表現力等		家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなど、課題を解決する力を養う。		
	学びに向かう力・人間性等		家族や地域の人々との関わりを通して、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し考えようとする実践的な態度を養う。		
学期	月	時数	単元名	単元の目標	学習内容
一学期	4月 ～ 7月	12	オリエンテーション	・学習する心構えをつくる	家庭科を学ぶ意義や1年間の活動内容を知り、学ぶ心構えを作る。
			家庭生活	・自分の成長を振り返りながら、家庭生活の大切さを知る。(思考・判断・表現) ・乳幼児や高齢者などの生活の特徴、乳幼児や高齢者などとの関わり方について気付くこと(知識・技能)	・乳幼児時期からの自分の成長を振り返る。 ・高齢者の生活の特徴を知り、バリアフリーやユニバーサルデザインについて学ぶ。 ・地域や学校内のバリアフリーを探してみる。
			衣生活	・衣服と社会生活との関わりが分かり、目的に応じた着用、衣服の適切な選択について理解することができる。(思考・判断・表現) ・用具の安全な取り扱いについて理解し、適切にできる。(知識・技能)	・普段着と改まった場で着用する衣服を分類する。 ・基礎縫いやボタンつけを行う。
二学期	9月 ～ 12月	14	食生活	・生活の中で食事が果たす役割について理解することができる。(知識・技能) ・自分に必要な栄養素の種類と働きが分かり、食品の栄養的な特質について理解することができる。(学びに向かう力) ・用途に応じた食品の選択、食品や調理用具等の安全と衛生に留意した管理、材料に適した加熱調理の仕方について理解し、基礎的な日常食の調理が適切にできる。(知識・技能)	・食事が果たす役割について考える。 ・栄養素の種類と働きについて知る。 ・栄養バランスの整え方を知り、献立を作成する。 ・用途に応じた食品の選択を考える。 ・調理実習(簡単な日常食)
			住生活	・住居の基本的な機能について理解することができる。(思考・判断・表現力)	・和式と洋式の違いについてプリントにまとめることができる。 ・みんなが気持ちよく住むためのルールを考える。
三学期	1月 ～ 3月	9	消費生活	・購入方法や支払方法の特徴が分かり、計画的な金銭管理の必要性について理解することができる。(思考・判断・表現力)(高等部2段階)	・悪質商法のロールプレイを通して、はっきり断ることや誰かに相談することの大切さを考える。
年間授業時数			(35) 時間		